

水にこだわって 議会で質問してきました。



本会議 代表質問

2008年危機管理室 局所豪雨について、雨水の排除や貯水について再検討するべき



水は循環しています！

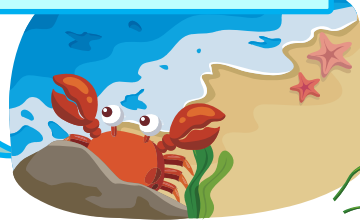
2010年本会議 耕作放棄地をなくし、水田を維持することで水資源の涵養(貯水)を

2003年建設局 福田川の水質と、生物共存の川底について、2004年羽束川・波豆川の水質について

2004年 2006年水道局 水道の経年管(老朽管)更新、六甲山の水道トンネルの経年化、水道のテロ対策、水源となる千苅の水質について

2004年 2008年・建設局 下水の高度処理と海水の水質、のりの養殖との関係について、下水汚泥の活用について

2009年環境局 大阪湾の水質保全のための大阪湾再生会議について



～川原田弘子 プロフィール～

- 1959年12月 三重県に生まれる
- 1982年 3月 関西学院大学理学部卒業
- 1982年 4月 三菱重工業㈱神戸造船所入社
- 1994年 三菱重工労組 女性委員
- 1999年 " 職場委員
- 2002年10月 " 特別執行委員
- 2003年 4月 神戸市会議員立候補 当選
- 2007年 4月 神戸市会議員2期目 当選
福祉環境委員長、港湾交通副委員長など歴任
現在、都市消防委員長

～川原田弘子はこんな人です～

- 入社以来、会社ではCADシステムやシミュレータ製作などに携わってきました。
- 趣味は手芸、映画鑑賞、野球を見ること、古いもの、植物や生き物が大好きです。



宍粟市の新しい林業を視察



企業内保育所を視察

川原田弘子後援会「ひろこ倶楽部」へのお誘い



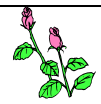
後援会・ひろこ倶楽部に、おひとりでも多くの方にご入会いただきますよう、皆様のお力添え方、併せてお願い申し上げます。

川原田弘子後援会
会長 佐々木久子



～ひろこ倶楽部会則～

- 川原田弘子を中心に会員相互の親睦を深めます。
- この会は、若干の世話人を選び、運営されます。
- 会費の徴収は致しません。



環境と経済が両立する
社会を目指そう！！



神戸市会議員

かわらだひろこ

川原田弘子



～川原田弘子、こんなことを目指している～
 ○環境と経済が両立する社会を目指そう
 ○アジアの医療の街を目指そう
 ○虐待の無い街、生まれてきた子どもすべてが幸せを感じられる街を目指そう
 ○仕事と家庭が両立できる社会を目指そう
 ○高齢者や障がい者、定住外国人の皆さんが不安なく暮らせる街を目指そう
 ○農業や漁業が元気な街を目指そう

4年前、こんなことをこれからやっていきたいと訴えていました。

環境先進都市「こうべ」の実現を！！

そして生まれてくる子どもすべてが幸せに！！

医療を核に、市民が潤い、健康になる街に！！



アジアの医療の街を目指そう！！



医療産業都市構想が着手されてから、12年が経過しました。現在、医療関連の機関や企業など、200社にせまる勢いで集積が進んでいます。来年7月には、最新の医療設備を誇る新中央市民病院も開業します。次世代スパコン「京」の効果により更なる医薬品関連の企業の進出や、また、医療器具の製造販売の会社の進出も目立ってきています。夢だった再生医療の臨床研究も現実のものになってきました。市民が最先端の医療を受けられ、医療を核に発展できる街、ぜひとも議会の一員として支えていきたいです。

環境と経済が両立する社会を目指そう！！



4年前、その前の立候補の時から、市内の中小企業を含めた製造業の持つ環境関連の技術を海外に展開できるよう、行政がリードするべきと訴えてきました。国の「新成長戦略」の中にも、環境・エネルギー技術、水・インフラ技術などを伸ばして経済成長させる戦略が盛り込まれ、神戸市も環境未来都市にチャレンジしようとしています。高度な省エネ技術のものづくりや浄水などの技術は、輸出してこそ、環境分野で世界に貢献できるはず。環境と経済が両立する社会、今後一層、目指していかなければなりません。

虐待の無い街、生まれてきた子どもすべてが幸せを感じられる街を目指そう！！



この4年間でも、虐待のニュースが後を絶たない状況でした。幸い、神戸市では、新生児訪問や各機関の連携によって、警察官が立ち会わなければならない臨検には今のところ至っていません。というものの、相談件数は増加の一途であり、早期発見の更なる対策も必要です。また、里親制度を充実させ、養子縁組前提の里親はもちろんのこと、前提としない養育里親や、ボランティアとしての季節里親・週末里親を更に普及させ、子どもたちがより家庭に近い形で養育されるよう今後も働きかけたいと思っています。

仕事と家庭が両立できる社会を目指そう！！



現在、神戸市では、24000人保育を目指して保育所整備に取り組まれています。それでもなお、待機児童が出てきています。男性も女性も、家庭のことを心配しないで、仕事のできる社会、どんなに仕事が忙しくても、家庭を持つことができる社会にするために、あらゆる角度から、「仕事と家庭が両立できる社会」を目指して取り組んでいきたいと思っています。また、家庭で育児に専念するお母さんも、相談相手がいないことも！社会みんなで支える子育て、考えていきたいです。

高齢者や障がい者、定住外国人の皆さんが不安なく暮らせる街を目指そう！！



年金・医療・介護が充実した社会は、高齢者の皆さんだけでなく、私たち全員の問題です。党の一員として、障がい者の皆さんの制度拡充と併せて社会保障の制度の充実に取り組みたいと思っています。また、海外移住センターでの日系ブラジル人の皆さんを初め、日本語・母国語の教育支援など、外国人が不安なく暮らせる街を目指します。

農業や漁業が元気な街を目指そう！！



市内の耕作放棄地は、500ヘクタールに及びます。農業の問題は、都市部に居住する私たちにとって、他人事ではありません。食料保障の観点としてだけでなく、安全な農産物の確保、そして、農地や山林の整備による、水資源の貯水・浄化能力による環境保護の点にも目を向けなければなりません。元気な農業の育成に向け、給食畑の更なる普及や、就農支援に取り組んでいきたいと思っています。また、「水の循環」に今後も着目し、水の流れる最終の「海」の水質など、元気な漁業が続けられるよう、取り組んでいきたいと思っています。



海外移住と文化の交流センター
(旧神戸移住センター)

